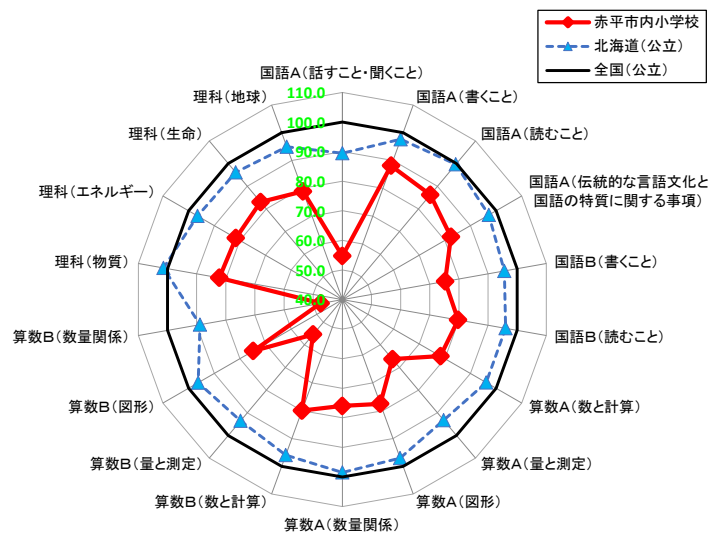


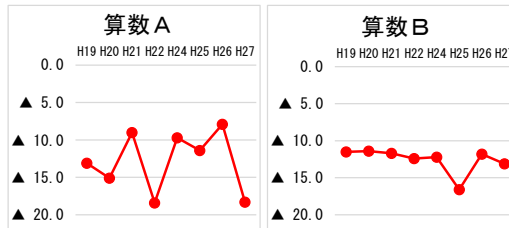
■ 赤平市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3、児童数:62名)

【教科全体の状況】

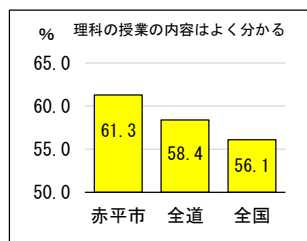
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



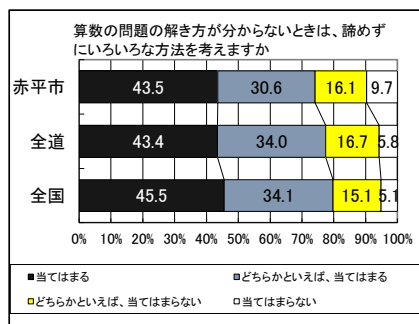
【平均正答率の全国との差の推移】



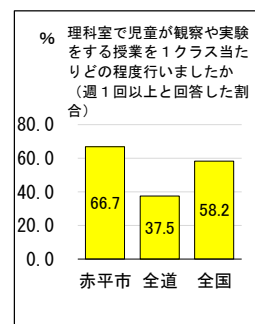
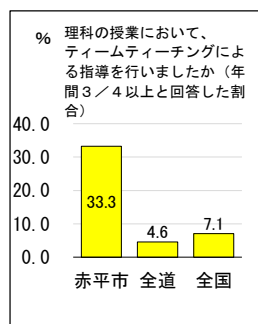
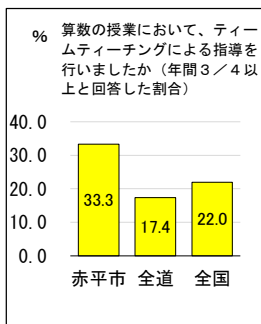
【児童質問紙調査1】



【児童質問紙調査2】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「書くこと」で他の領域に比べて、全国に最も近い。 ○ 算数Bでは「数と計算」で他の領域に比べて、全国に最も近い。 ○ 理科では「生命」で他の領域と比べて、全国に最も近い。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の授業において、チーム・ティーチングによる指導を行った結果、児童が問題の解き方が分からないときに諦めずにいろいろな方法を考えるようになり、算数B「数と計算」で、他の領域に比べて、全国に最も近くなったと考えられる。 |
| 児童質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全道とほぼ同様となっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の授業において、チーム・ティーチングによる指導や理科室で児童が観察や実験をする授業をよく行った結果、児童が理科の授業の内容がよく分かるようになり、「生命」で、他の領域に比べて、全国に最も近くなったと考えられる。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数及び理科の授業において、チーム・ティーチングによる指導を行いましたか」という質問に対して、「年間の授業のうち、おおそ3/4以上で行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 | |

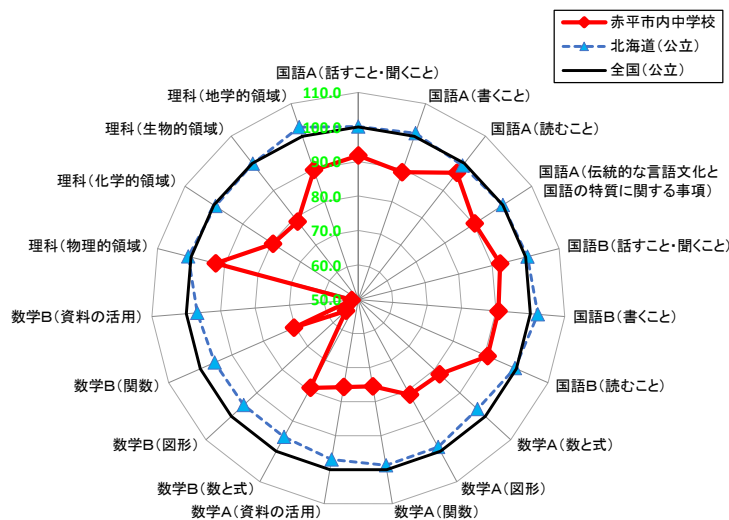
【赤平市の学力向上策】

- ◎ 市学力向上委員会を設置するとともに、市学力向上プランを策定し、全小・中学校で共通の取組を実施
- ◎ 全学年での標準学力テスト(NRT)実施で、経年比較により個々の状況把握
- ◎ 道教委指定事業(地域の学力向上支援事業)を全校で実践

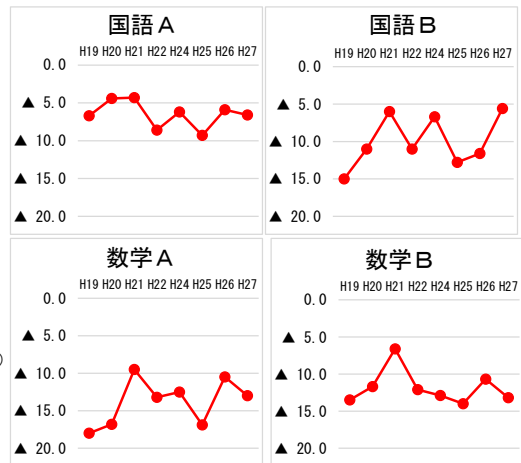
■ 赤平市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:77名)

【教科全体の状況】

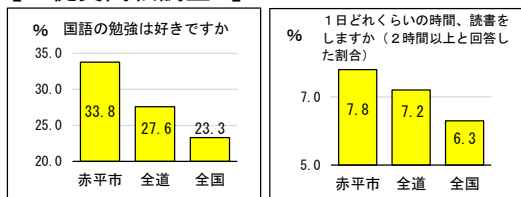
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



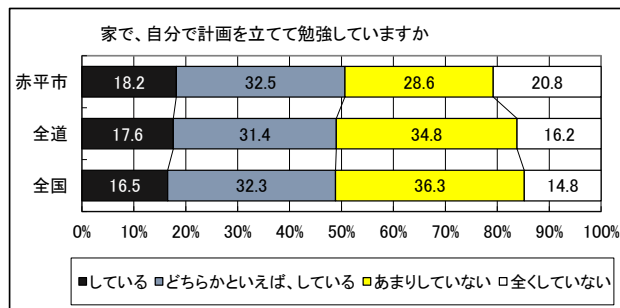
【平均正答率の全国との差の推移】



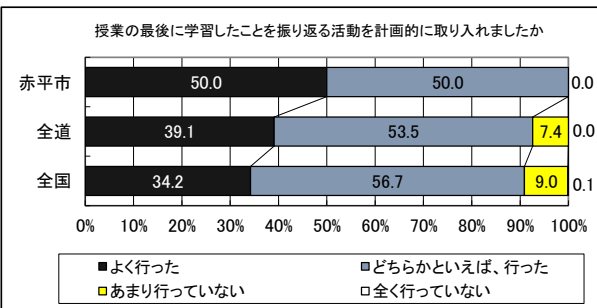
【生徒質問紙調査1】



【生徒質問紙調査2】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|---|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「読むこと」で全国とほぼ同様となっている。 ○ 数学Aでは「数と式」で他の領域と比べて、全国に最も近い。 ○ 理科では「物質的領域」で他の領域と比べて、全国に最も近い。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的によく取り入れた結果、生徒が自分で計画を立てて勉強したり、読書をしたりするようになり、国語Aの「読むこと」で、全国とほぼ同様となったと考えられる。 |
| 生徒質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」という質問に対して、「している」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率の推移については、生徒が自分で計画を立てて勉強したり、読書をしたりするようになった結果、生徒が国語の勉強が好きになり、国語A・Bで、全国との差が縮まってきたと考えられる。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れられましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 | |

【赤平市の学力向上策】

- ◎ 市学力向上委員会を設置するとともに、市学力向上プランを策定し、全小・中学校で共通の取組を実施
- ◎ 全学年での標準学力テスト(NRT)実施で、経年比較により個々の状況把握
- ◎ 道教委指定事業(地域の学力向上支援事業)を全校で実践